

2006年3月28日

各 位

参天製薬株式会社

マイクロスフェア製剤に関する開発およびライセンス契約締結について

参天製薬株式会社（本社：大阪市 社長：森田隆和）は、オークウッド社（本社：米国オハイオ州 President&CEO：Mark T. Smith）と、糖尿病黄斑浮腫を対象疾患としたステロイドマイクロスフェア製剤（開発コード DE-102）について、製造技術の開発およびライセンスに関する契約を締結しました。今後両社は、オークウッド社が持つマイクロスフェア技術（CHRONIJECT™）を活かしたDDS（ドラッグデリバリーシステム）製剤の製造技術開発に取り組んでいきます。

糖尿病黄斑浮腫は、網膜における糖尿病合併症の一つであり、網膜内の血流・血管障害がおきることで、眼底のほぼ中央に位置する黄斑の一部に浮腫が生じる疾患です。症状が悪化すると視力障害を引き起こしたり失明の原因になる場合も有ります。現在、同疾患の治療では、光凝固や硝子体手術などによる治療が主として行われています。

参天製薬では、薬剤の研究開発に加え、その有効性を高める製剤技術の研究開発も積極的に行っており、現在、糖尿病黄斑浮腫の治療剤としてDDSの概念を取り入れたDE-102を開発中です。研究段階では、このDE-102を眼局所に投与することで、長く安定した薬効持続性を確認することができました。しかし、マイクロスフェア製剤を商業用スケールで無菌製造するには、高い製剤技術と高度な設備が必要となります。そのため、マイクロスフェア技術で高い技術力と開発力を持つオークウッド社と、高品質で安定した供給が可能な製造技術の開発で提携しました。

DE-102が開発パイプラインに加わることで、重点開発領域である網膜疾患のパイプライン強化と、今後の治療の選択肢拡大による患者さんのQOL（生活の質）向上への貢献を期待しています。

<ご参考>

マイクロスフェア製剤：微小球粒子中に薬剤を内包させた製剤。

<オークウッド社について>

社名 Oakwood Laboratories, L.L.C.
本社 米国オハイオ州オークウッド
代表者 Mark T. Smith
概要 1997年設立。ポリマーおよびマイクロスフェア技術に強く、Microsphere drug delivery platform (CHRONIJECT™)を用いた製剤の開発および製造を得意とする。
URL <http://www.oakwoodlabs.com/>

以上